

# 令和7年度事業報告書

## 1. 会 員

### 1) 法人・団体会員

本年度入会	1社	株式会社グリーンパワーインベストメント
本年度退会	2社	旭化成株式会社, 株式会社ACCESS
本年度末会員数	102	法人・団体 (総会議案参考資料のとおり)

### 2) 個人会員

本年度入会	12名
本年度退会	2名
本年度末会員数	107名

## 2. 役員、顧問等

### 1) 理 事

本年度就任	9名	漆間 啓, 大田 貴之, 覺道 崇文, 加藤 和男, 五島 久司, 澤 誠広, 沼田 博男, 濱本 総一, 古瀬 充穂
本年度退任	9名	太田 啓雅, 小原 春彦, 河野 正志, 近藤 史郎, 下田 一彦, 中村 幸一郎, 根本 孝七, 野口 哲男, 野村 京哉
本年度末人数	14名	(総会議案参考資料のとおり)

### 2) 監 事

本年度就任	2名	香月 嘉史, 松浦 康雄
本年度退任	2名	西田 篤史, 松木 隆典
本年度末人数	2名	(総会議案参考資料のとおり)

### 3) 顧 問

本年度就任	1名	中村 幸一郎
本年度退任	0名	
本年度末人数	5名	(総会議案参考資料のとおり)

### 4) 幹 事

本年度就任	3名	黒本 欣弘, 島津 正毅, 鈴木 智
本年度退任	3名	大田 貴之, 鈴木 千秋, 中澤 孝彦
本年度末人数	4名	(総会議案参考資料のとおり)

### 3. 会 議

#### 1) 総 会

本年度開催回数 3回

第86回通常総会を令和7年5月29日に開催

第1回 臨時総会を令和7年7月23日に開催

第2回 臨時総会を令和8年3月27日に開催

#### 2) 理 事 会

本年度開催回数 7回 第754回～第760回

### 4. 定 款

平成24年4月1日 一般社団法人電気協同研究会の定款登記

### 5. 専 門 委 員 会

#### 1) 委 員 会

本年度終了 4委員会

- ① 配電設備の保安および工事の高度化・省力化専門委員会
- ② 電力系統用パワーエレクトロニクス設備の保全ガイドライン専門委員会
- ③ 水力発電所機器専門委員会(水車・ポンプ水車および付属装置の工場検査基準)
- ④ 再生可能エネルギー電源の導入拡大等の環境変化に伴う保護・制御システムの課題と対策検討専門委員会

昨年度から継続中 4委員会

- ① 地中送電設備の施工技術に関する現状と今後の展望専門委員会
- ② 架空送電用ポリマーがいし技術専門委員会
- ③ 電力用通信システム監視高度化専門委員会
- ④ 変電所への環境配慮機器の導入検討専門委員会

本年度設置 2委員会

- ① 水力発電所機器専門委員会(発電機・発電電動機および付属装置の工場検査基準)
- ② 配電系統における無効電力の現状と対応技術専門委員会

#### 2) 委 員 数

専門委員会 247名

幹事会・作業会等 364名

#### 3) 会 議 開 催 回 数

専門委員会 14回

幹事会・作業会等 79回

## 6. 研究討論会

テーマ	「再エネ大量導入時代を見据えた将来的な広域ネットワークの取組と課題」
実施方法	会場参加と録画の Web 配信（予約視聴）
開催日時	令和7年11月7日（金）13:00～17:00
場所	電気の史料館（神奈川県横浜市鶴見区江ヶ崎町4-1）
配信期間	令和7年12月3日（水）～12月26日（金）
司会	馬場旬平氏（東京大学 大学院 新領域創成科学研究科 教授）
基調講演	小林正孝氏（電力広域的運営推進機関 系統計画部長）
講演	片岡俊朗氏（東京電力パワーグリッド(株)経営企画室 副室長） 永田真幸氏（(一財)電力中央研究所 グリッドイノベーション研究本部 首席研究員） 小林武則氏（東芝エネルギーシステムズ(株) エネルギーアグリゲーション事業部 技監） 鈴木 隆氏（(株)ユーラスエナジーホールディングス 執行役員 技術ユニット長） 真山修二氏（住友電気工業(株)電力プロジェクト事業部 開発部 技師長）

### パネルディスカッション

テーマ：「将来的な広域ネットワークにおける今後の展望と期待」

コーディネーター：馬場旬平氏

パネリスト：各講演者

会場参加者：106名（内有料入場者70名）

配信視聴者：206名（内有料配信155名）

### 討論会概要

2023年に開催された「第28回気候変動枠組条約締約国会議（COP28）」において、再エネについて「2030年までに発電容量を世界全体で3倍にする」という目標が掲げられ、世界的に再エネ導入が加速している。日本においても例外ではなく、「政府として、2050年カーボンニュートラルを目指して挑戦を続けることとしており、2025年2月に閣議決定された「第7次エネルギー基本計画」においても、脱炭素電源として重要な再生可能エネルギーについては主力電源として最大限活用することとし、2040年度における電源構成において再エネは4割から5割程度と、火力を上回る見通しが示されている。

電力の安定供給を確保しつつ、電力システムの脱炭素化を進めるためには、電力ネットワークの次世代化を進めることが不可欠である。このため、広域系統長期方針（広域連系系統のマスタープラン）を踏まえた地域間連系線の整備や、地内基幹系統等の増強を着実に進めていく必要がある。電力ネットワークの次世代化においては、HVDCや系統用蓄電池、各種再エネの整備・普及が重要な要素となるが、一般送配電事業者、再エネ事業者、メーカー、規制機関等、各種ステークホルダーの貢献が必須となる。

そこで、2025年度研究討論会では、再エネ大量導入時代を見据えた次世代の広域ネットワークの取り組みと諸課題に焦点をあて、次世代ネットワーク構築に関する各種取組みを紹介するとともに、今後必要となるアプローチについて、意見交換を行った。

## 7. 刊 行 物 (『電気協同研究』の発刊)

発 刊 数 2号

- ① 第81巻第1号 「電力系統用パワーエレクトロニクス設備の設計・保全ガイドライン」

令和7年6月発刊、 245頁、470部印刷

- ② 第81巻第2号 「水車・ポンプ水車および付属装置の工場検査基準」

令和7年8月発刊、 134頁、550部印刷

## 8. 講 習 会

- ① 「電力系統用パワーエレクトロニクス設備の設計・保全ガイドライン」講習会  
(九州開催)

開催日時 令和7年6月20日(金) 13時30分～16時40分

場 所 九州電力(株)本店 電気ビル(福岡県福岡市中央区渡辺通2-1-82)

テキスト 第81巻第1号「電力系統用パワーエレクトロニクス設備の設計・  
保全ガイドライン」

受 講 者 10名

- ② 「電力系統用パワーエレクトロニクス設備の設計・保全ガイドライン」講習会  
(東京開催)

開催日時 令和7年6月27日(金) 13時30分～16時40分

場 所 CIVI 研修センター 日本橋(東京都中央区日本橋室町4-1-6)

テキスト 第81巻第1号「電力系統用パワーエレクトロニクス設備の設計・  
保全ガイドライン」

受 講 者 27名

- ③ 「水車・ポンプ水車および付属装置の工場検査基準(改訂版)」講習会

開催日時 令和7年9月12日(金) 13時30分～16時30分

場 所 CIVI 研修センター 日本橋(東京都中央区日本橋室町4-1-6)

テキスト 第81巻第2号「水車・ポンプ水車および付属装置の工場検査基準」

受 講 者 28名

以 上